

1 はじめに

特別支援教育とは、障害の有無にかかわらず、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な指導や必要な支援を行っていくものである。通常の学級においては、特別支援教育の視点に立った児童生徒理解を基に、児童生徒が自己肯定感や自己有用感を味わえるような学級経営の充実に努めること。さらに、授業を中心とした学校生活のあらゆる場面で、児童生徒にとっての「安心感」と「わかりやすさ」を高める指導に取り組むことが重要である。

そこで、全ての児童生徒がわかる喜びや学ぶ意義を実感できる学級づくりや授業づくりについての具体的な取組を整理し紹介したいと考える。

2 研究内容

(1) ユニバーサルデザイン(UD)の視点を整理

①ユニバーサルデザインの考え方を教育に当てはめる。

ユニバーサルデザインとは、「全ての人にとって、できる限り利用可能であるようにデザインすること」とされている。これを教育に当てはめると、「全ての児童生徒にとってわかりやすく参加可能な授業づくり・学級づくりを行うこと」と考えられる。

②ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級づくり・授業づくりの観点を整理する。

※参考資料：山形県教育センター「UDの7つの視点一覧表」

学級づくり

<p>1 教室環境</p> <p>①教室の整理整頓の仕方の指導 ②座席の位置の配慮 ③視覚刺激の量への配慮(前面黒板とその周囲・壁面掲示物の精選) ④スケジュールの見やすい掲示 ⑤予定の変更を視覚的にわかりやすく伝える工夫</p>	<p>2 学習や生活のきまり</p> <p>①学習活動のきまりの指導(聞くこと、話すこと、書くこと等) ②学級生活のきまりの指導(時間のきまり、清掃や給食等) ③実態の振り返りと必要に応じた見直し</p>	<p>3 関係づくり</p> <p>①児童生徒の理解、児童生徒同士の関係把握の観察 ②児童生徒同士が関わり合える工夫 ③時・場・相手に応じたコミュニケーションの指導</p>
--	---	---

授業づくり

<p>4 授業の構成</p> <p>①学習の流れ(見通し)の提示 ②学習用具の準備 ③動機づけを図る工夫 ④自力解決のための思考の手がかりの提示 ⑤学習活動の時間配分の工夫 ⑥学習の形態の工夫 ⑦集中力を高めたり気分を切り替えたりする活動</p>	<p>5 教師の話し方・発問や指示</p> <p>①肯定的な話し方 ②話し始める前に興味を引く工夫(タイミング、立ち位置、前置き) ③全体への発問や指示、個別の声かけや確認等の工夫 ④わかりやすい発問や指示</p>	<p>6 板書・ノートやファイル</p> <p>①授業の流れや内容がわかる板書の工夫 ②教室のどの位置からも見える文字の大きさ・行間の配慮 ③大事な点がわかる工夫(チョークの色・ラインや囲み・矢印や記号・掲示物の活用) ④視写しやすい板書の仕方(スピード・タイミング・間) ⑤ノートの書き方、ファイルの整理の仕方の指導</p>	<p>7 教材・教具</p> <p>①視覚的支援を活用した教材・教具の工夫(具体物・写真・絵・動画・ICT機器等) ②材料・道具・用具の準備 ③読みやすく書きやすいプリントやワークシートの工夫 ④実態や特性に応じた教材の準備</p>
--	--	--	---

(2) ユニバーサルデザイン(UD)の視点から学級づくり・授業づくりの具体例の提案

1-①教室の整理整頓の仕方

すっきりと整理整頓され、分かりやすく動きやすい教室は、児童生徒が安心して、落ち着いた学校生活を送ることができるので、児童生徒の自主的な行動を導きます。それは学級事務を軽減することにもつながり児童生徒と向き合う時間の確保になります。

視覚刺激の量を調整するカーテンやつい立ても、すっきりと整理して見せる方法として活用できます。



提出物

出席番号で班分けするため、未提出者の把握がしやすい。
給食当番(白衣)と連動し、班のチームワークもばっちり！



掲示物

関連毎に掲示することで
分かりやすく、動きやすくなる。

- ・ルール関係(生活のきまり、学習や給食の決まり…等)
- ・スケジュール関係(学期、月、週等の予定)



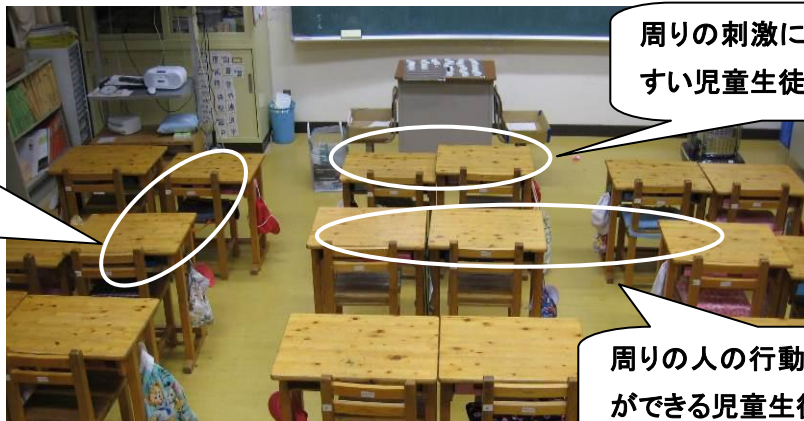
その時間の授業に関係ないものはカーテンで隠すとすっきり見える。

1-②座席の位置の配置

周りからの刺激(音・友達の動き・廊下や外の様子等)をうまく選択できず、刺激に過剰に反応してしまう児童生徒がいます。本人も反応したくないのですが、刺激に引きつけられて落ち着かなくなり、必要以上に神経を使い、疲れてしまいます。座席の位置を配慮することで、落ち着いて取り組むことができるようになる場合が多くあります。

一方で、刺激を嫌っているわけではない児童生徒には、休み時間に気分転換(体を動かしたり、呼吸法を行ったり等)ができるように環境を調整することで、集中して取り組めるようになります。

黒板に視線が定まりやすく、教師が指導しやすい座席



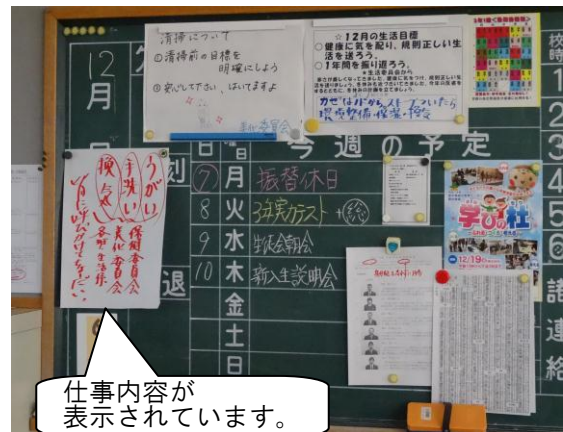
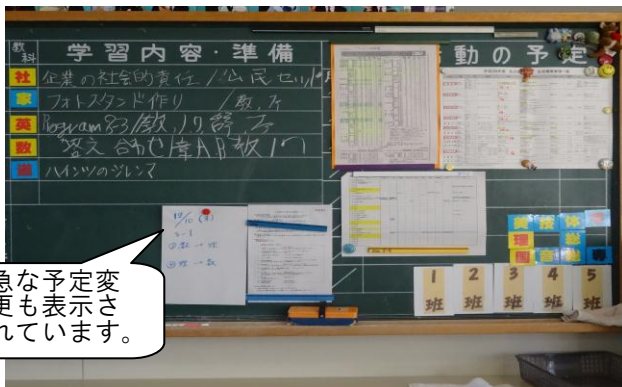
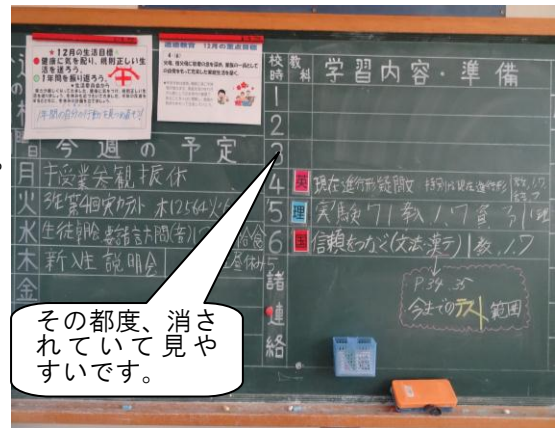
周りの刺激に影響されやすい児童生徒は1列目

周りの人の行動を見て動くことができる児童生徒は2列目

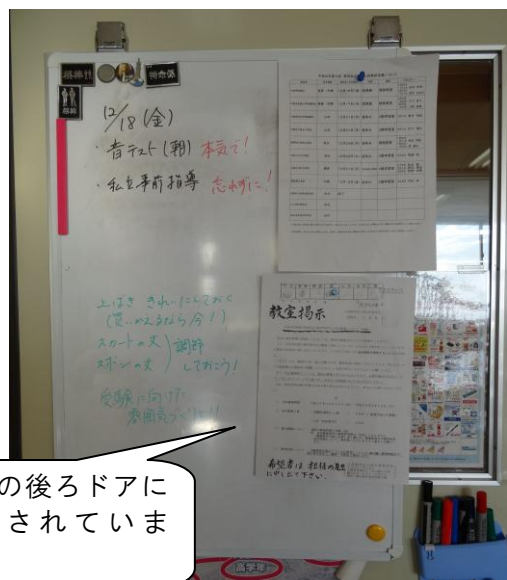
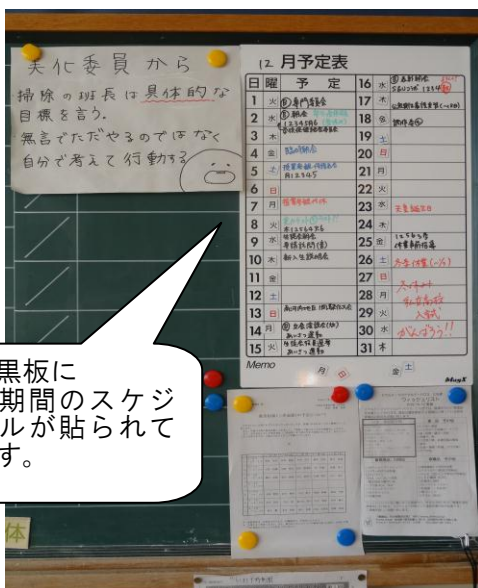
1—⑤ 予定の変更を視覚的にわかりやすく伝える工夫

一日のスケジュールを掲示することで、一日の見通しをもつことができ、安心して生活できることはよく知られています。背面黑板は、その機能を果たすものです。

生徒達が帰りの会で明日のスケジュールを把握し、また忘れ物をなくすことを目的にしています。そうすることで誰もが授業に集中して落ち着いて取り組むことができ、学力の向上を図ることができると考えています。4校時に教室に行ったときには、3校時までのスケジュールが消されていました。



次は、予定の変更があったときのためのホワイトボードの活用です。教室の後ろのドア(開けない側)に掛けてあり、授業変更や、提出物、その提出期日等も書かれています。聞いただけでは覚えられず、忘れ易い生徒にとってはトラブルを減らすことができます。このようにホワイトボードを活用することで、前の黑板は掲示物を貼ったり、知らせたいことを書いたりする必要がありません。その結果、授業で黑板一面が使い、生徒が授業に集中できることに繋がります。



2—②学級生活のきまりの指導

何をどうしたらよいかわからない生活状況は、児童にとっては不安で居心地が悪く、トラブルの要因になることもあります。児童が安心して学校生活を送るためには、具体的な取り組みについてがわかるよう、生活のきまりを定め、示すことが必要です。毎日の生活の中で、お互いの取り組みのよさを認め合える経験を積ませていくことで、自己肯定感が育まれ、一人一人が安心できる状況をつくり出していくことができます。

きまりの提示にあたっては、見える形で明確に示すことが大切です。係活動や清掃、当番活動などについて、何をどのようにすればよいのか、いつ始まりいつ終わるのかなどを、絵や文字を組み合わせ、わかりやすく示すことで、必要なきまりを理解しやすくなります。

また、折に触れ、児童の実態を振り返り、きまりの評価と見直しを意識しながら指導していくことが大切です。

きまりの示し方の例

〈整理整頓について〉



〈給食について〉

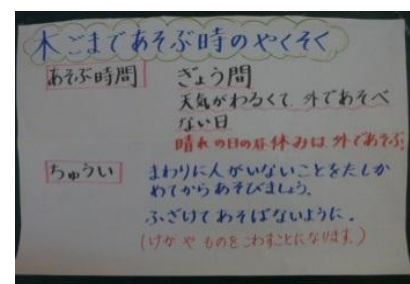


〈当番活動について〉

1 週番	3 班
2 かんきょう	4 班
3 元気	5 班
4 べん強	6 班
5 生き物	7 班
6 配り	8 班
7 黒板	1 班
8 ランチ	2 班



〈遊びについて〉



3—① 児童生徒の理解、児童生徒同士の関係把握の観察

発達障害を含め、様々な子どもたちがいる通常の学級において全ての教員が情報を共有し、その生徒に対する指導を適切に行うことができれば、生徒の日常に起こるつまづきを減らすことができます。そのための工夫として、次のことを実践しています。

① 教育相談支援部会(校内体制の充実)

「教育相談支援部会」を時間割に位置づけし、気になる生徒について、一週間の教室や部活での様子やエピソード、友人関係、今後の対応などを話し合っています。学校不適應生徒を出さない、増やさないをモットーに、未然に防ぐことを目標にしています。

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4	生徒指導部会		教育相談支援部会		
給食					
5					
6					

② 家庭訪問や面談記録の回覧

新学期始めの家庭訪問、保護者を交えた三者面談、生徒と担任の二者面談について、担任の先生方は「生徒指導の記録」に載せています。それだけではなく、情報を共有しておくべき家庭の事情や友人関係、健康面などの相談内容については、教育相談支援部会にて詳細に確認しています。

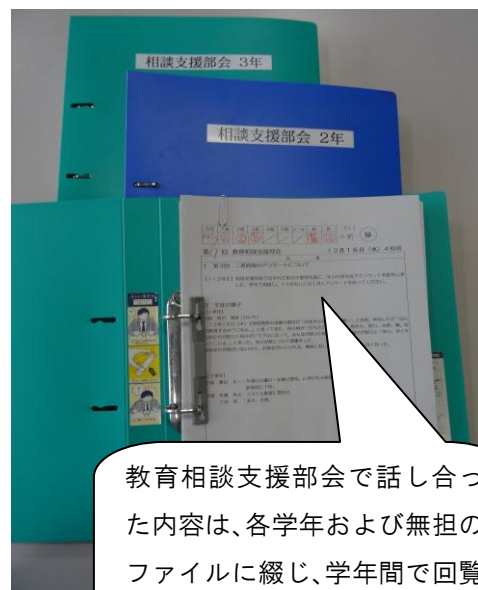
また、その内容に関する記録を回覧用にまとめ、各学年の教育相談支援部担当者が学年間で回覧しています。これは、情報共有だけではなく、いつでも、どの生徒に対しても適切な指導ができることを目的にして行っています。

③ QUテストの結果を個別の指導計画に反映

通常学級に在籍する生徒の個別指導計画には、学級で実施したQUの結果を載せ、支援する際に担任が結果を意識できるようにしています。また、個別の指導計画も全職員に回覧し、生徒の個性や特徴を先生方が把握し、情報の共有や支援方法を知ることで、②と同様、いつでも、どこでも、誰にでも適切な指導ができるよう体制の構築を図っています。



教育相談支援部会は、教育相談主任を主催者とし、校長、養護教諭、特別支援学級担任、スクールカウンセラー、特別支援コーディネーター、各学年の担当で構成されています。



教育相談支援部会で話し合った内容は、各学年および無担のファイルに綴じ、学年間で回覧しています。

5—④わかりやすい発問や指示

発問や指示は、一文が長いと内容が伝わりにくくなります。できるだけ簡潔で、具体的な表現を用いた発問や指示を行うことで、わかりやすく伝わります。

つい使ってしまう表現を

もう少しわかりやすく

しっかり見直しましょう。 →

ちゃんと座りましょう。 →

「1 つめは～します。2 つめは～します。」

〈一文で、一つの動作〉

「もう一度計算します。まちがいがあったら直しましょう。」

「椅子に深く腰をかけて座りましょう。」

〈抽象的でなく、具体的な表現〉

今は何をやる時間ですか。 → 「すぐ掃除を始めましょう。」 〈直接的な表現〉

～しないと遊べないよ。 → 「～が終わるとたくさん遊べるよ。」 〈肯定的な表現〉

また、

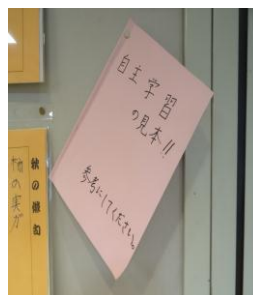
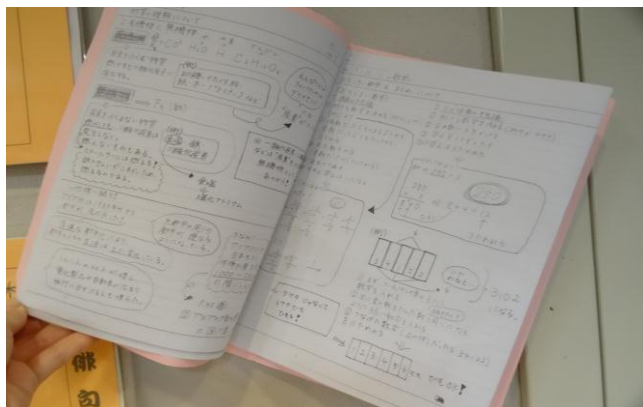
視覚的な情報を併用して伝えることで
概念化を進め、よりわかりやすくなります。



絵を使って
わかりやすく

6—⑤ ノートの書き方、ファイルの整理の仕方の指導

学校全体で自主学習を励行しています。1年生の段階では、大学ノートの使い方に迷う生徒も多くいます。そのため、上手にノートを使っている生徒、上手に自主学習をこなしている生徒のノートを印刷し掲示しました。この掲示されたノートを模倣することから始めた生徒もあり、自主学習の提出率が高くなりました。



また、このように毎日大学ノートで自主学習を行うことで、授業中の板書を大学ノートに視写するときにも、自分なりのノートのまとめ方ができるようになってきています。

7—①視覚的支援を活用した教材・教具の工夫

②材料・道具・用具の準備

わかる授業を目指すためには、児童や学級の実態に合わせて、教材・教具の効果的な選択や活用を行うことが大切です。提示する内容をよりわかりやすくする工夫として、具体物や写真、動画を用いたり、ICT（視聴覚）機器を使ったりといった例が挙げられます。

〈音楽〉アルトホルンについて、実物を用いて説明しています。 →



←〈図工〉のこぎりの使い方について、ゲストティーチャーが実演しながら説明し、その手元をアップにした映像を写しています。視聴覚機器を用いることで、視覚情報や聴覚情報を複合的に提示し理解させることができます。

また、できる授業を行うためには、児童生徒の学習に適した材料、道具、用具等の準備が必要です。発達段階や学習課題に応じた配慮のもとに準備をすることで、活動や作業をスムーズに進めることができます。



〈図工〉各児童の箱の中に、材料や使う道具（金づち）、プリント類が入っています。

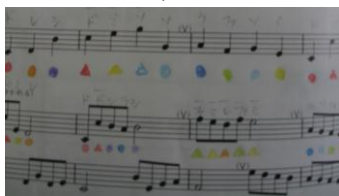


7—④ 実態や特性に応じた教材の準備

小学校5年生の事例（音楽）

学年が上がるにつれ、合奏曲もだんだん難しくなります。音楽が得意でない児童には、簡単な楽器を選んだり、演奏する部分を限定したりすることも支援の一つですが、「難しい楽器に挑戦したい」という児童の希望に対して取り組んだ事例です。

音符に色鉛筆で色を塗る



楽器にも同じ色のシールを貼り、マッチングをすることで演奏する。



小学校6年生の事例（図工）

描きたいポーズをタブレットPCで写真を撮り、その写真を見ながら版画の下絵を描きました。

空間認知の弱い児童には、さらに方眼を描き込み、目印をつけると描きやすくなります。



7—④ 実態や特性に応じた教材の準備

小学校 1 年生の事例

入学当初は教室から飛び出し、学校中自由に動き回っていた通常の学級に在籍する 1 年生児童。すぐに担任、支援員を中心に、学校体制で関係機関と連携しながら支援を開始しました。その後、少しずつ落ち着いて学習や行事に取り組めるようになった事例です。

その支援の一つに、**実態や特性に応じた教材の準備**がありました。やるべき学習課題が終わったら「スペシャルタイム」として本児の好きな課題ができます。**場所の確保**もポイントの一つです。

1 時間の確保(スペシャルタイム)

11 がつ 18 にち 5 じかんめ	
やること(かだい)	
①	さんすうドリル ⑩まで やります。
②	プリントを1まいやります。
③	ひとりで"スペシャルタイム"です。 なべいほり ⑥まで。

好きな課題ができる時間を確保

2 場所の確保

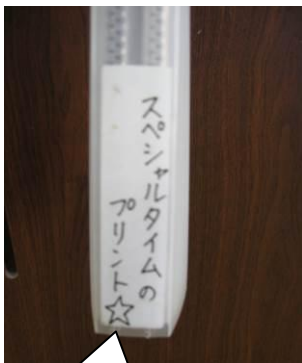


スペシャルタイムのプリント置き

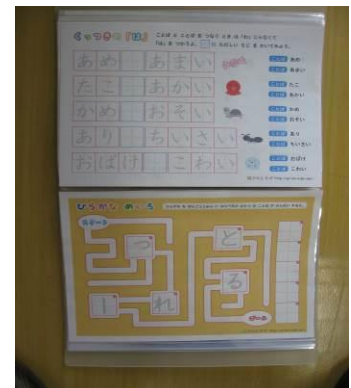
教室の後方に、スペシャルタイムの座席

本来の座席

3 実態や特性に応じた教材



ファイルにして準備



迷路、数字つなぎ、しりとり、すごろく・・・
インターネットから無料で印刷できる。

検索例): 無料 迷路

: 無料 キッズプリント

: 無料 学習素材 etc

